

No.14

ちくまさかき

# 危険物防火管理協会報



## 【長野県消防学校 大規模危険物施設立入検査実習】

平成 28 年 11 月 28 日に当協会の J X エネルギー株式会社北信油槽所様・長野石油輸送株式会社様のご協力により、長野県消防学校危険物科第 33 期生の教育実習として、大規模危険物施設立入検査実習が実施されました。

## 千曲坂城危険物防火管理協会

発行日 平成 29 年 1 月 発行人 田島光雄 発行 千曲坂城危険物防火管理協会  
編集 千曲坂城消防本部 更埴消防署内 危険物係 (協会事務局)  
千曲市大字杭瀬下 84 TEL 026-274-0119 FAX 026-273-1119  
E-mail:chikumasakaki@ag.wakwak.com

# 会長あいさつ

千曲坂城危険物防火管理協会

会 長 田 島 光 雄



平成 29 年の新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃のご活躍に対しまして心から敬意を表し、平素から当協会の運営につきまして、ご理解とご協力を賜りますことを心からお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に発生した熊本地震については、いまだに大きな災害の傷跡を残しています。この地震は、気象庁が、昭和 24 年に震度 7 の震度階級を設定して以降、日本国内における震度 7 の観測は、平成 23 年の東日本大震災に続いて 4 回目であり、九州地方では初めての観測でありました。

この大地震により、熊本県大島石油基地の屋外タンク貯蔵所の法面にヒビ割れ及び防油堤の目地に亀裂が発生したほか、益城町の給油取扱所では、地盤沈下と防火塀に亀裂が発生しましたが、比較的大きな被害を受けなかったことを踏まえると、現行法令での技術基準の施工が有効であると思慮されます。

当管内におきましては、内陸型地震の長野盆地西縁断層帯、糸魚川静岡構造線断層帯の地震と海溝型地震の東海地震、南海トラフ地震の被害が危惧されているところであります。

また、全国の危険物施設における火災及び流出事故件数は 580 件で、ほぼ横ばいの状況が続いており、関係団体や行政機関では、事故防止対策の目標として危険物等に係る重大事故の発生防止を掲げるとともに、軽微な事故が多数発生するうちに重大事故も発生するという考え方から軽微な事故の発生防止にも積極的に取り組んでいるところであります。

幸いにも、昨年、千曲市・坂城町管内においては、防火対象物・危険物施設からの火災、大きな危険物流出事故の発生はありませんでしたが、今後も気を緩めることなく、危険物管理・防火管理体制を徹底し、事故の無いよう努め、地域社会に貢献して頂きたいと会員の皆様をお願いするところであります。

先行きに不透明感が漂う経済状況ではございますが、これまで以上に当協会の結束を強め、今年 1 年が事故や災害のない年でありますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々のご発展とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



千曲坂城消防本部「ポスター展」

最優秀賞

東小学校 6 年生 吉澤 朋歩さんの作品

## 平成28年度 通常総会開催



平成 28 年度の通常総会が 5 月 13 日（金）千曲市総合観光会館において開催されました。議事審議が行われ、昨年度の事業、決算及び平成 28 年度事業、予算等が承認されました。

総会の席上においては、永年にわたり危険物の取扱いに関して功績のあった優良事業所と優良危険物取扱者に当協会長表彰が行われるとともに、全国危険物安全協会理事長表彰、長野県危険物安全協会長表彰の伝達がありました。

受賞者は下記の方々です。おめでとうございます。

## 平成28年度受賞者

※敬称略

### ●一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

6 月 6 日（月）東京都 スクワール麹町にて

【優良事業所】

長野電子工業株式会社



### ●一般社団法人長野県危険物安全協会長表彰

6 月 10 日（金）茅野市 茅野市民館にて

【優良事業所】

特別養護老人ホーム 吉野の里

【優良危険物取扱者】

柘 津 一 吉 「長野石油輸送株式会社」

吉 田 敦 「山崎製パン株式会社武蔵野工場」

玉 井 智 樹 「坂城食糧販売企業組合」

山 岸 克 法 「有限会社ヤマギシ」



### ●千曲坂城危険物防火管理協会長表彰

【優良事業所】

株式会社タカノ コモンズハウス万葉

【優良危険物取扱者】

佐 藤 久 子 「有限会社佐藤徳一商店」

竹 内 昌 枝 「日精樹脂工業株式会社」



## 平成28年度 「県知事表彰」受賞

平成 28 年 6 月 13 日（月）にホテル国際 21 において、当協会長であり、（一社）長野県危険物安全協会会長を務めている田島光雄会長が、消防功労者として長野県知事表彰を受賞されました。おめでとうございます。

## 防火管理資格取得講習会・防火管理者会議開催

甲種防火管理資格取得講習会が 6 月 8 日、9 日（千曲市更埴文化会館）、11 月 17 日、18 日（千曲市更埴文化会館）の 2 回開催され、計 96 名の方が受講されました。

講習会では防火管理の意義・制度及び関係法令の講義から始まり、防火管理対策や各種消防用設備の維持管理、地震対策等について学び、2 日目には効果測定（試験）、消火器及び屋内消火栓を使用した模擬消火訓練や煙体験訓練等の実習を行いました。効果測定では受講者全員が優秀な成績を修め、修了証が交付されました。



この講習会を受講した皆様が、防火管理者に選任された際には、お客様や従業員の命を守る防災の責任者として活躍されることをご期待申し上げます。

また、10 月 26 日には千曲市更埴文化会館あんずホールにおいて、秋の火災予防運動の主旨の徹底を図るため防火管理者会議を開催し、183 名の方が出席されました。

新年を迎え、厳寒期となるこの時期は、暖房機器の使用が本格的になるとともに火災危険も増加します。防火管理者の皆様には、今後もより一層の火災予防に努めていただきたいと思います。



## LPガス・灯油タンク巡回指導実施

国民安全の日（7 月 1 日：安全安心な社会を築くための啓発活動）に併せて、一般家庭の灯油用ホームタンクや LP ガスの安全性を調査・指導する巡回指導を坂城町（月見）地区において長野県 LP ガス協会長野支部と千曲坂城消防本部と共催で 7 月 1 日に実施しました。

LP ガスは、巡回指導を実施した住宅すべてが、ガスボンベの転倒防止が施されており安全に設置されていました。ホームタンクは地震などの揺れに対する転倒防止対策（脚部固定等）や灯油が漏れた場合の流出防止対策（防油堤等）が施されていない家庭が多く見られました。





平成 26 年 11 月に発生した長野県神城断層地震により、隣接する長野市消防局管内では、ホームタンクの転倒により 3000 リットル以上の灯油が流出しています。今後、発生が予想される大地震に備え、転倒防止・流出防止の対策をお願いします。

また、冬期は暖房用の燃料として灯油の使用量が増えますが、それに伴って、小分け中にその場を離れたためポリタンクから灯油があふれ流出したり、経年劣化により腐食し穴の開いた配管等から灯油が流出するといった事故も多くなります。灯油などの危険物の流出は、火災が発生する危険性が高くなるのはもちろんのこと、土壌や水質汚染なども含め広範囲に重

大な影響を及ぼします。是非ともこの時期に配管やタンク周辺の安全確認を行いましょう。

灯油や L P ガスの販売及び配達業務を行う会員の皆様には、取扱いの専門家として、顧客の皆さんに事故防止のための積極的なアドバイスをお願いします。

## 秋の火災予防運動【一日消防士】実施

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、住民への火災予防思想の一層の普及と火災発生防止の推進を図ることを目的として、管内事業所のご協力を得て「一日消防士」を実施しました。当日は、8 時 30 分から更埴消防署において、職員の勤務交替・車両点検作業等を見学後、任命式が行われ柳町幸夫消防長から「一日消防士」の辞令が交付されました。その後、戸倉上山田消防署において消火器を使用した消火訓練や煙体験、はしご車・救助工作車や、高機能化した通信指令室の見学をしていただきました。

午後からは、一日消防署長に任命された千曲市、坂城町のマスコットキャラクター「あん姫」「ねずこん」とともに、事業所と合同による消防訓練を見学後、管内 3 箇所では火災予防広報及び住宅用火災警報器の設置・維持管理 P R をしていただきました。一日消防士としてご協力いただいたのは次の方々です。ありがとうございました。



※写真右から

- ・岡田 友美さん (森の里)
- ・苫米地 沙耶さん (リバーサイド上田館)
- ・柳町消防長
- ・山岸 彩子さん (エムケー精工)
- ・佐藤 あかりさん (竹内製作所)
- ・大内 聡子さん (フランセーズ悠とぐら)

## 「応急手当のできる店・事業所」普通救命講習会を開催

### 心肺蘇生法を知っていますか？

事業所内及びその周辺で発生した救急事故等の傷病者に対し、従業員等が積極的に適切な応急手当を行える職場環境を整えることを目的とした、平成 28 年度「応急手当のできる店・事業所」普通救命講習会を 10 月 17 日、18 日に開催しました。千曲坂城消防本部の応急手当指導員の指導のもと、両日とも大勢の会員の皆様が受講されました。

受講者を代表いたしまして、千曲市更埴文化会館（あんずホール）角田恵祐様に講習会の感想をいただきました。



### 普通救命講習を受講して

千曲市更埴文化会館（あんずホール） 角田 恵祐

AED や心肺蘇生については、以前にも簡単な講習を受けたことがありました。しかし、短い時間での講習だったこともあり、いざという時にどれだけ活かせるか不安でもありました。

今回の救命講習会では、心肺蘇生の実際のやり方と AED の使い方を主に学んだほか、「意識の確認」や「呼吸の確認」など、状況を適切に把握するために必要な行動も学びました。当初はこれらの動作の順序に混乱することもありましたが、救命士の方の指導のもと実習を重ねることで、適切に AED を使える自信ができました。

私が勤務する更埴文化会館（あんずホール）にも AED が設置されています。ホールも、お年寄りや子どもの利用も多く、人が急に意識を失って倒れてしまうことを常に想定しなければなりません。もしもの時には今回の講習を思い出し、救急隊員の方が到着するまでの間、できる限りのことをしたいと思います。



## 危険物防火管理協会視察研修

9 月 15 日と 16 日、神奈川県「株式会社タツノ横浜工場」、東京都「水素情報館 東京スイソミル」への視察研修が行われました。

### 平成 28 年度千曲坂城危険物防火管理協会 視察研修に参加して

千曲市第二学校給食センター 小林 照昌

千曲坂城危険物防火管理協会の視察研修が、9 月 15 日・16 日に一泊二日で行われ参加いたしました。参加者は 17 名、神奈川県「株式会社タツノ 横浜工場」・東京都「水素情報館 東京スイソミル」の視察と、鎌倉大

仏高德院と鶴岡八幡宮、横浜三溪園等を見学させていただきました。私にとって、危険物防火管理協会の視察研修は、普段行く機会がない場所を視察し、学習できるため参加させていただいております。



株式会社タツノ横浜工場にて記念撮影

会長を中心に初日の視察場所であります「株式会社タツノ横浜工場」に向かいました。この工場は、ガソリン計量機をはじめ、全製品の開発と製造部門とを併せ持った統合工場で、ガソリン計量機においては国内で約 60% のシェアを有し、東南アジアを中心に海外でも販売を展開しているそうです。

また、工場内のショールームでは、レトロな計量機から最新の計量機・燃料電池車用の水素ディスペンサーや高精度の流量計など、昨今注目されている新エネルギーに対応した製品と実際に計量機を製造している過程を視察させていただきました。株式会社タツノ横浜工場での視察を終え、宿泊先に向かう途中で鎌倉の大仏、鶴岡八幡宮を参拝しホテルに到着しました。夕食は、横浜中華街で中華料理を肴に紹興酒をいただきながら、今回の研修でご縁を得た方々と懇親を深めました。

二日目は、まず三溪園を見学いたしました。小雨が降っていましたが、それも情緒があつてよかったです。私は、その中にあります三溪記念館で立礼式（りゅうれいしき）にて抹茶をいただき、貴重な体験ができました。その後、二日目の視察場所であります「水素情報館 東京スイソミル」に向かいました。



東京スイソミルにて記念撮影

東京スイソミルは、昨年の 7 月にオープンした環境先進都市東京が目指す水素社会のショーケースで、水素社会の将来像を見て触って体験しながら楽しく視察いたしました。特に、自転車を使った水素の製造・発電コーナーで実際に水素を製造し、その水素を燃料として車（ミニカー）を走らせましたが、これには驚きました。将来的に、水素エネルギーが暮らしの様々な場面で使用され、安全で安心な生活ができることに期待しております。

その後は、水上バス・東京湾クルーズで水辺を船上から楽しみました。漫画・アニメ界の巨匠・松本零士氏がデザインした宇宙船のような「ヒミコ」に乗船し、浅草まで隅田川を水上散策させていただきました。

この視察研修の二日間で、一緒に参加された会員の皆様と融和ができ、また貴重体験をさせていただきまして大変感謝しております。ありがとうございました。今回、参加できなかった協会の皆様も、来年は参加されてはいかがでしょうか。

# 第37回防火ポスター展 金賞7作品決定



審査風景

児童生徒の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図るため行われる防火ポスター展に、各小学校の皆さんから力作 205 点が出品されました。厳正な審査の結果、金賞 7 点、銀賞 7 点、銅賞 14 点が選ばれ、最優秀賞として吉澤朋歩さんの作品（1 頁参照）が、消防本部が発行する来年の防火カレンダーに、そして優秀賞として宮坂結輝さん、鹿田健太さんの作品が埴科消防協会と当協会等が発行し、各戸に配布する今年度の防火チラシの図案としてそれぞれ採用されました。

平成 28 年度 防火チラシ



### ◎金賞入賞者の方は次の方々です。

おめでとうございます。

- 東小学校 6 年 吉澤 朋歩さん（最優秀賞）
- 埴生小学校 5 年 宮坂 結輝さん（優秀賞）
- 上山田小学校 4 年 鹿田 健太さん（優秀賞）
- 東小学校 6 年 吉澤 朋希さん
- 東小学校 6 年 町田修一郎さん
- 南条小学校 6 年 小嶋 鈴々さん
- 南条小学校 6 年 塚田 真帆さん

# 「災害時におけるドクターヘリ 場外離着陸場の施設利用協定」締結

平成 28 年 6 月 15 日（水）、当協会の日精樹脂工業株式会社様のご協力をいただき、災害発生時のドクターヘリ離着陸場所として、所有する野球グラウンド、サッカーグラウンド、従業員駐車場の 3ヶ所を提供させていただくこととなりました。

坂城町南条地区は、今まで南条小学校の校庭が離着陸場として登録されていましたが、校舎の建て替えにより、校舎や校庭のレイアウトが変更となったため、安全面を考慮するとドクターヘリが離着陸することが困難となっていました。ドクターヘリを用いる最大の利点は、救急患者のいる救急現場に医師・看護師を素早く送り届け、すぐさま救命処置を開始し、適切な医療機関への迅速な搬送が可能になることです。救急患者への適切な治療がいち早く行われることにより、救命率の向上や後遺症軽減が見込まれます。



調印式の様子

- 右 山村副管理者（坂城町長）
- 中央 日精樹脂工業(株)依田社長様
- 左 岡田管理者（千曲市長）





## 住宅用火災警報器の設置はお済みですか？



～あなたや家族を守るために～

総務省消防庁から発表された平成 28 年 6 月 1 日時点での住宅用火災警報器の設置率は、全国平均が 81.2% であるのに対し、千曲坂城消防本部管内の設置率は 81% となっています。(条例どおりに設置されているものは、78% です。) まだ、設置されていないご家庭がありましたら、火災が多くなるこの時季にぜひ設置しましょう。

また、住宅用火災警報器が正常に作動するように、半年に 1 回は清掃し、作動点検を行いましょう。

なお、古くなると電池切れや、故障の恐れがありますので、設置から 10 年を目安に交換をおすすめします。

設置場所や警報器の種類等不明な点がありましたら、千曲坂城消防本部または最寄りの消防署にお問合せください。



## 火災予防条例改正による「消火器の準備と届出」義務化



火災予防条例の改正により、屋外で祭礼、緑日、花火大会、展示会その他多数の人が集合する催しで火気を使用する場合、その主催者や火気を使用する露店などの関係者の皆さんに対して、消火器の準備や所轄の消防署にあらかじめ「露店等の開設届出書」の提出を義務付けています。

ただし、近親者によるバーベキュー、幼稚園などで父母等が主催するもちつき大会のように相互に面識のある人が参加する催しなどは対象外としています。



なお、開設届出書の提出により、火災予防の徹底をお願いすることを目的に、所轄の消防署で事前指導や現地指導をさせて頂く場合がありますので、よろしくお願いいたします。



## 株式会社 竹内製作所



～今回は 株式会社 竹内製作所 株式会社タカサワ 更埴SS です～



「世界初から世界の TAKEUCHI へ」

竹内製作所は、昭和 38 年 8 月に坂城町で創業以来、「土」と「水」を事業テーマとして、ミニショベル・油圧ショベル・クローラーローダー等の建設機械および工業用攪拌機の完成品メーカーとして歩んでまいりました。建設機械分野におきましては、昭和 46 年に世界で初めてミニショベルを開発したのに続き、昭和 61 年には不正地作業に最適なクローラーローダーもまた世界で初めて開発、販売いたしました。建設機械の販売先は 9 割以上が海外であり、海外販売での実績をととして蓄積された高い技術力、製造力、販売力を活かし、世界各地に製品を提供しております。特に欧米市場においては、稼働時間が日本国内の 2 倍におよぶため、この過酷な作業条件に耐えうる機械として弊社の製品は海外で高い評価を得ております。

平成 27 年には東証一部上場を果たし、また J A X 日経インデックス 400 銘柄にも選定されました。今後弊社が目指すのは、建設機械・攪拌機と並ぶ新たな事業の開拓と確立です。それを“第三の柱”としてさらなる事業の発展を期しております。

一方、地域振興や地方の活性化も重要な課題となっております。弊社を今日まで育てていただきました地元之恩返しをするべく、様々な社会貢献や人材育成に繋がる活動にも尽力してまいりますので、引き続き千曲坂城危険物防火管理協会ならびに関係機関の皆さまのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 株式会社タカサワ 更埴SS

株式会社タカサワは、昭和 51 年に高沢産業の鉱油部門が分離独立して高澤石油株式会社として設立され、現在では自動車販売、レンタカー、石油、LP ガス、環境エネルギー、飲食業の 6 つの事業を中心に展開しております。

また、平成 28 年 4 月に自由化された電力事業にも参入し、ますます地域の皆様の生活に必要なサービスを提供してまいります。

弊社が運営する千曲市杭瀬下の国道 18 号線にある更埴 SS (Esso Express) は、当初フルサービスの給油所として営業していた店舗をセルフ給油所として全面改装オープンいたしました。当 SS は 2 重殻地下タンクを埋設しており、最新の監視カメラシステム等を導入し危険物を取り扱う施設として安心して営業できる体制が整っております。最近では石油業界の価格競争の激化や少子高齢化、HV 車の普及促進などにより千曲市のみならず全国規模で厳しい業界を今後も生き抜いていくためにも、健全・安心の経営を柱に地域社会への貢献や徹底した安全管理、従業員への健康管理に気を配り、今後もカーメンテナンスをはじめとしたお客様のトータルサポートパートナーとしての事業所を目指していきたくと思います。今後も事故などが無き様、常日頃から危険物防火管理協会様ならびに千曲坂城消防の皆様には更なるご指導ご鞭撻を頂き、危険物の事故防止に努める所存です。今後とも当 SS をよろしくお願い致します。



### 【編集後記】 今年 は “酉年” です。

2017 年の干支は酉（とり）です。干支にはそれぞれ色々な縁起がありますが、酉年は「取り込む！」という言葉とかけて、商売に縁起の良い年だと言われていました。商売にはとても縁起の良い「酉」。縁起を担いで、新たな仕事のステップアップに向いている年だと言えます。当協会も会員皆様の事業所と共に、大きくステップアップして行ければと思っております。

